

参与作品

深見けん二

中新井雑唱

窓に影曳いて落葉の降り止まず  
散りかかる白山茶花の盛りかな  
酉の市賑ひ此処に及びをり  
短日にこと寄せ仕事捗らず  
おだやかな一日なれど日短  
読初や虚子に賜る『虚子俳話』  
卒寿なるガールフレンド初電話  
ケアハウス雑煮いただき顔合はす  
手馴れたる介護の初湯存分に  
大寒を挟む三日のよき日和